

野洲市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について

●令和5年度の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）について

令和5年度の温室効果ガス排出量は、集計の結果、5,191,232kgとなり、平成28年度（基準年度）の排出量7,169,074kgに比べ1,977,842kg、約27.6%の減少となりました。

<温室効果ガス排出量が減少した主な要因>

市施設へ電力を供給する電気事業者の電気の二酸化炭素排出係数（電気事業者が販売した電力を発電するためにどれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標）が改善されたことによるもの。

【平成28年度（基準年度）の電気の二酸化炭素排出係数】 0.531 (t-CO₂/千kWh)

【令和5年度の電気の二酸化炭素排出係数】 0.360 (t-CO₂/千kWh)

●令和5年度実績値と基準年度との比較

		単位	平成 28 年度【基準年度】		令和5年度【年度実績】			
			使用量	二酸化炭素排出量(kg)	使用量	二酸化炭素排出量(kg)	二酸化炭素排出量差引増減(kg)	増減率
燃 料	ガソリン	L	27,908	64,802	31,581	72,324	7,522	11.6%
	灯油	L	45,641	113,600	26,474	66,256	△47,344	△41.7%
	重油A	L	—	—	44,000	121,124	121,124	100.0%
	軽油	L	6,366	16,456	8,036	21,051	4,595	27.9%
	液化石油ガス(LPG)	kg	183,625	550,691	162,070	485,288	△65,403	△11.9%
	都市ガス	m ³	71,113	158,866	88,891	182,227	23,361	14.7%
電 気		Kwh	11,817,690	6,275,193	11,794,044	4,245,856	△2,021,697	△32.3%
太陽光発電売電量		Kwh	19,839	△10,534	8,038	△2,894		
二酸化炭素排出量合計 kg				7,169,074		5,191,232	△1,977,842	△27.6%

●計画の推進について

令和5年度の温室効果ガス排出量は、平成28年度（基準年度）に比べ減少しており、本計画が目標とする20%減少を達成しています。しかしこれは二酸化炭素排出係数が改善されたことによるものであり、エネルギー使用量自体は増加しているものもあります。

エコオフィス運動やノー残業デいの推進などエネルギー使用量を直接的に抑える取組みの他、ペーパーレス化やごみの分別など間接的に抑える取組みにも職員が意識的に取り組むよう啓発し、市が行う事務事業におけるエネルギー使用量の抑制と二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。